

お願い

※この説明書は施工完了後、必ずお施主様にお渡しく下さい。



トステム株式会社

リビング建材 和室用建具（新和風SL）紙貼障子・猫間障子・
上げ下げ障子・室内用窓 和障子タイプ

取扱い説明書

目次

■ 重要なお知らせ	1	■ 調整方法について	2・3
■ 用語の意味	1	■ 紙貼障子・室内用窓 和障子タイプ 障子紙の張替え方法について	4・5
■ 特に注意していただきたいこと	2	■ 猫間障子・上げ下げ障子 障子紙の張替え方法について	6・7
■ 上げ下げ障子本体取外し・取付方法について	2	■ 商品保証について	8

重要なお知らせ

ご使用前に

●安全のために、必ずお守りください。

「リビング建材商品」のご使用およびお手入れの際は、必ずこの「取扱い説明書」にしたがってください。

もしこの「取扱い説明書」にしたがわず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、トステム株式会社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この「取扱い説明書」の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「リビング建材商品」のご使用およびお手入れの際は、この「取扱い説明書」の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この「取扱い説明書」は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お買い求めの工務店・販売店 又はトステム（株）お客さま相談室	TEL (03) 3638-8181 ☎ (0120) 126-001

用語の意味

※この章では、「リビング建材商品」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

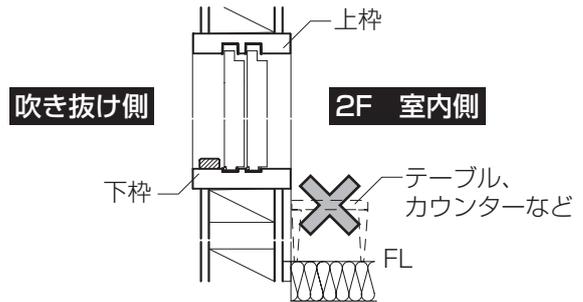
●この取扱い説明書での用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

用語	意味
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

■特に注意していただきたいこと

●室内用窓和障子タイプ

●お願い
 ※子供・ペットなどの落下防止の為、室内用窓和障子タイプを「2F-吹き抜け部」の間仕切り部にご使用の場合は、2Fの室内用窓和障子タイプの下部にテーブル、カウンターなど(その他よじ登れる物)を置かない様にお願いします。

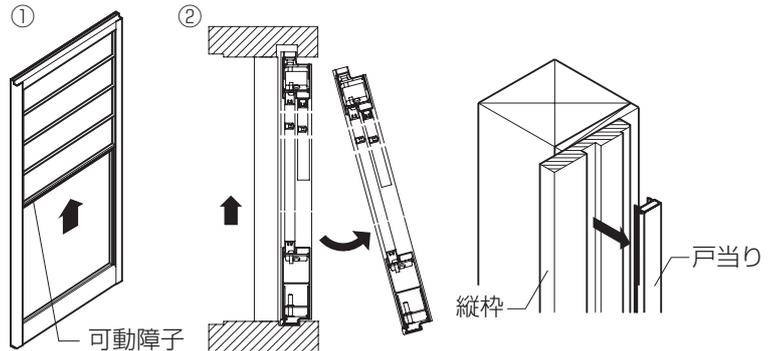


■上げ下げ障子本体の取外し・取付方法について

サッシ・網戸のお手入れや障子張り替えの際には下記要領で本体を外してください。

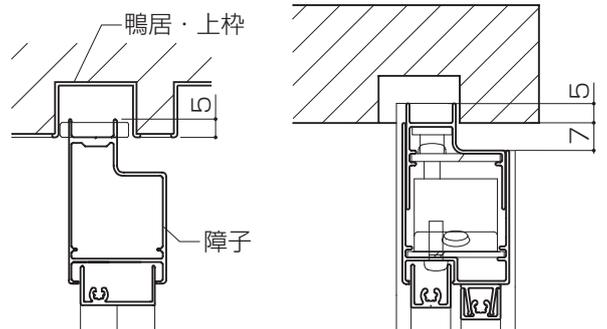
■取外し方法

- ①可動障子を開けます。
 ※一番上まで可動障子を上げた状態で作業してください。
- ②中棧・下棧を持ち、本体を持ち上げて下棧を下枠から外します。
 ※取付けは取外し方法と逆の手順にて行ってください。
 下棧溝に本体が入っていることを確認してください。
 ※網戸のお手入れがしにくい場合は、縦枠に取付いている戸当りも外してください。
 お手入れ後は、元通り縦枠溝に戸当りをはめ込んでください。



■調整方法について

- ご使用中に建付けにくいが生じることがありますので(定期的な点検)下記の方法で建付けの調整をしてください。
- ※上げ下げ障子以外の障子の鴨居・上枠へのかかりは5mm以上確保してください。かかりが少ないと障子の外れにつながります。(図1)
- ※上げ下げ障子は、上枠と上棧のチリを7mm以内になしてください。(図2)



上げ下げ障子以外 (図1)

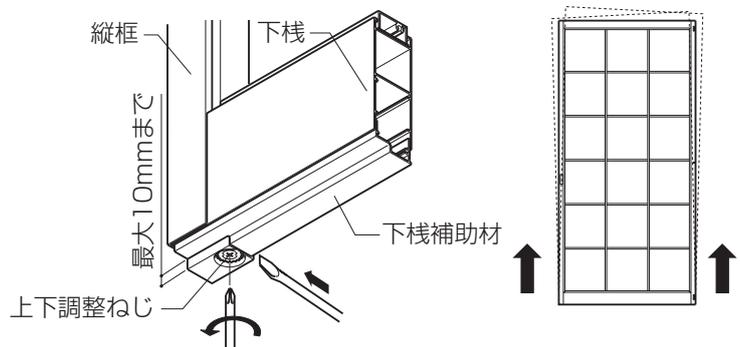
上げ下げ障子 (図2)

■上下方向の建付け調整

- ※本体下棧・上棧には調整機能がついています。
 本体の戸首の鴨居・上枠へのかかりが少ない場合に調整します。
- ※紙貼障子・室内用窓和障子タイプには本体上棧の調整機能はありません。

●本体下棧で調整する場合

- 調整量は+10mm、-0mmです。
- ・本体を外し、下棧の底の上下調整ねじをプラスドライバーで左に回します。
 - ※一度調整ねじを回せば、その後は本体を吊り込んだまま調整可能です。
 その場合は、本体を少し持ち上げ、上下調整ねじのダイヤルをマイナスドライバーで回します。
 - ※上げ下げ障子は、本体を外して調整してください。

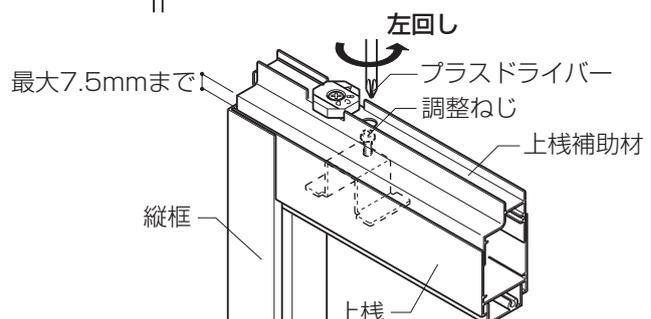


●本体上棧で調整する場合

調整量は+7.5mm、-0mmです。

・猫間障子の場合

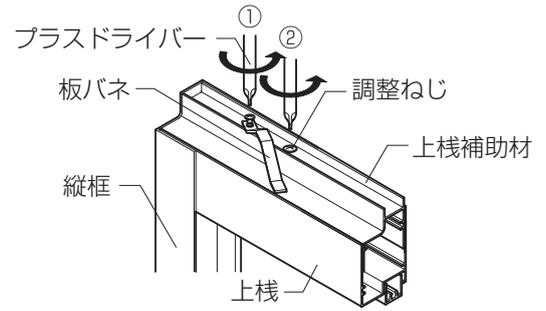
- ①上棧調整ねじ穴に、プラスドライバーを差し込んで左に回します。



・上げ下げ障子の場合

①上棧に付いている板バネのねじを緩め、板バネをずらします。
 ※ねじを外してしまうと上棧補助材に取付けてある接続金具が抜け落ちてしまうため外さないでください。

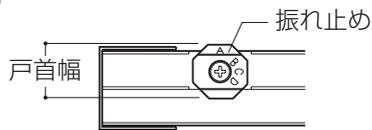
②上棧調整ねじ穴に、プラスドライバーを差し込んで左に回します。



■戸首の鴨居溝内部のガタツキ調整

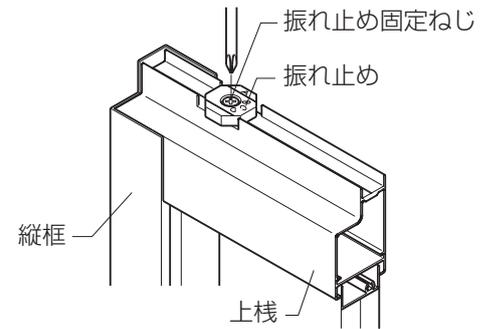
※上げ下げ障子にはガタツキ調整機能はありません。

●溝内部で戸首のガタツキが大きい場合に調整します。
 上棧上部の振れ止め固定ねじをプラスのドライバーでゆるめ、振れ止めの八角面を回転させて調整します。
 八角面を決めたら、面を上棧と平行にして、固定ねじで締付けます。



(単位mm)

八角面	戸首幅
A面	19.5
B面	20
C面	20.5
D面	21



■左右方向の建付け調整（障子の出来幅調整）

※猫間障子・上げ下げ障子には左右の調整方法はありません。

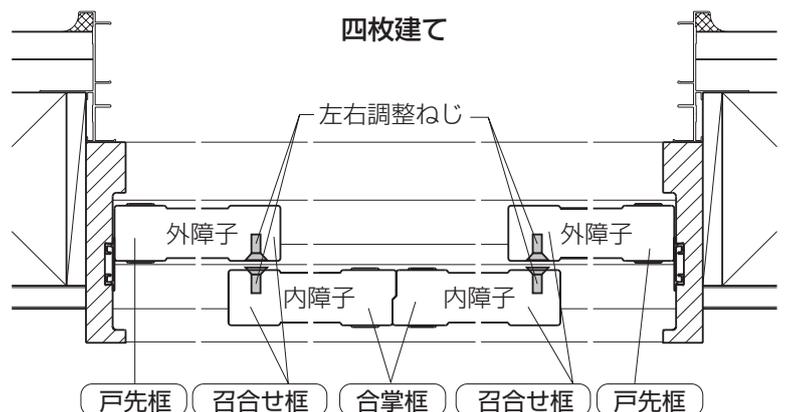
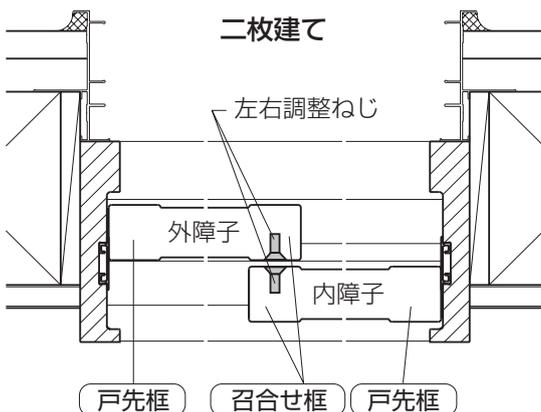
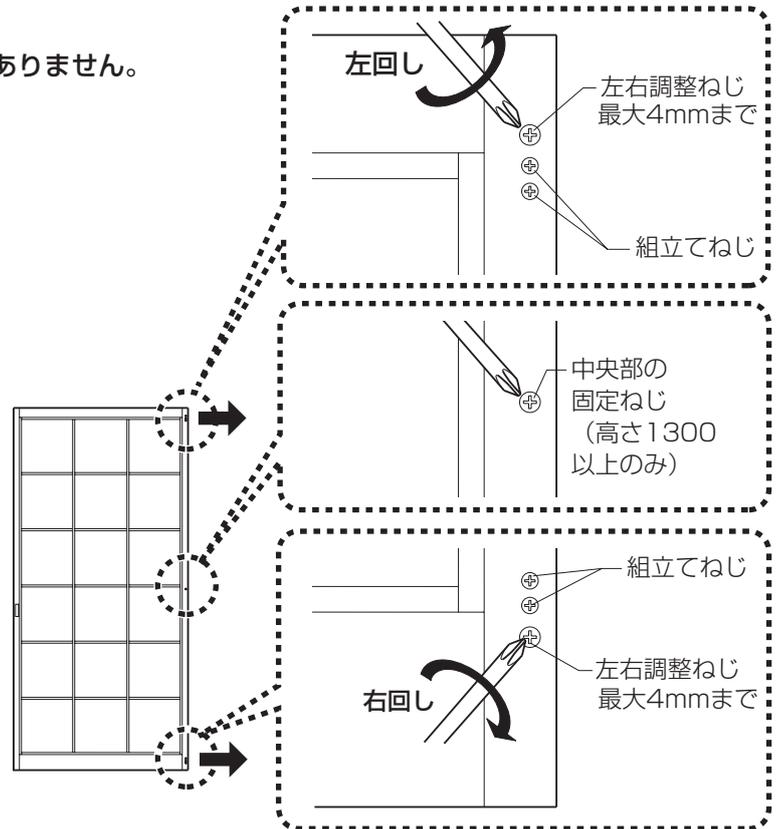
※本体の召合せ框には左右調整ねじが付いています。上下調整の後で、障子の幅調整および内・外障子の召合せ框を合わせる場合に調整します。

①高さ1300以上の場合は、まず召合せ框中央部の固定ねじ（1本）をプラスドライバーで、1回転程度左に回してゆるめます。

②上下の左右調整ねじをプラスドライバーで回して、召合せ框を横に移動させます。調整量は+4mm、-0mmです。

※上部は左に回し、下部は右に回します。

③高さ1300以上の場合は、①でゆるめた固定ねじを右に回して締付けます。



■紙貼障子・室内用窓 和障子タイプ 障子紙の張替え方法について

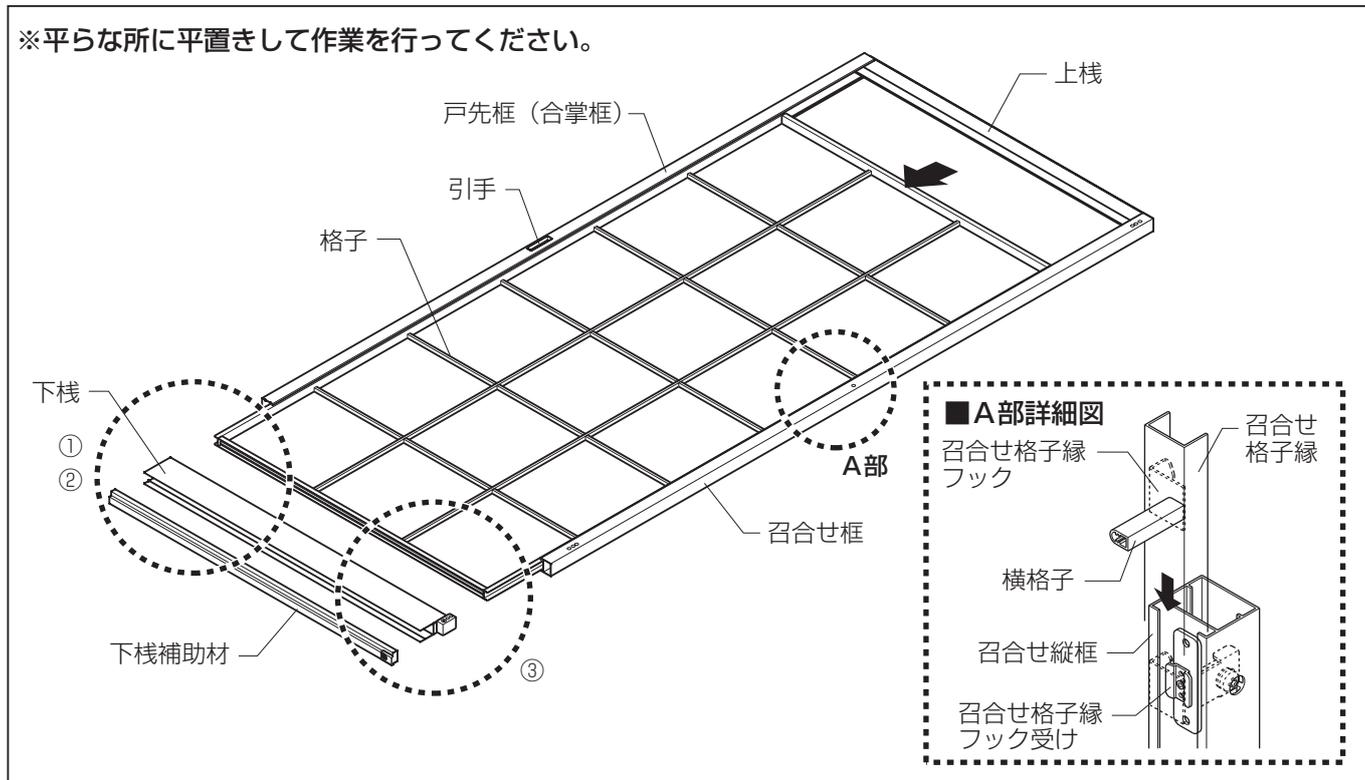
お願い

- ※市販のアイロンで張るタイプの障子紙は使用しないでください。表面の樹脂シートが溶けるおそれがあります。
- ※市販の澱粉糊又は有償部品として用意している「張替え用のり」以外は使用しないでください。表面の樹脂シートが傷みます。

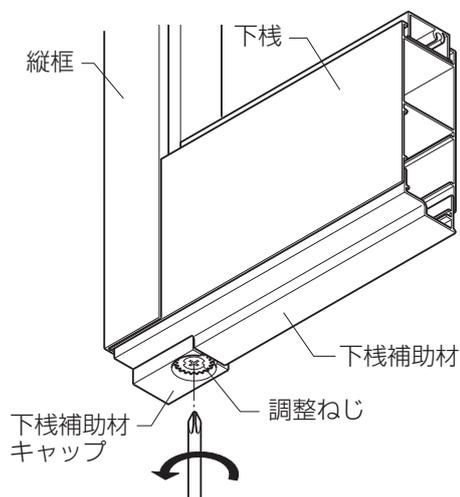
■障子紙の張替えに必要な物

- ・必要幅の障子紙
- ・弊社設定の有償部品の糊又は市販の澱粉糊
- ・カッター
- ・ハケ
- ・プラスドライバー
- ・水

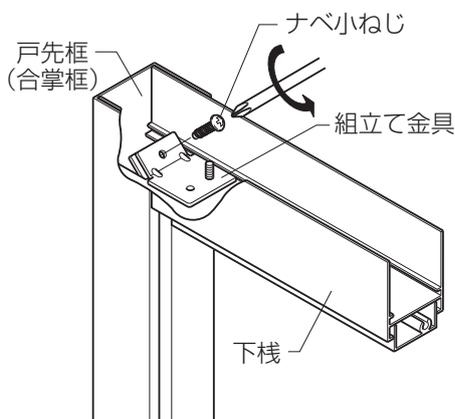
※平らな所に平置きして作業を行ってください。



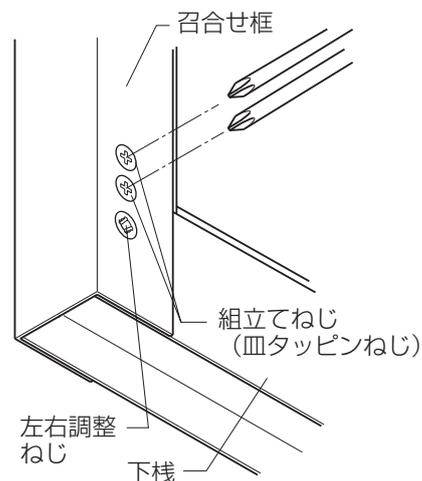
①下棧の底の調整ねじを左に回してゆるめ、下棧補助材キャップと下棧補助材を外します。



②下棧の戸先框側についている組立てねじ（ナベ小ねじ）を外します。



③召合せ框の下部の組立てねじ（皿タッピンねじ）2本を外します。

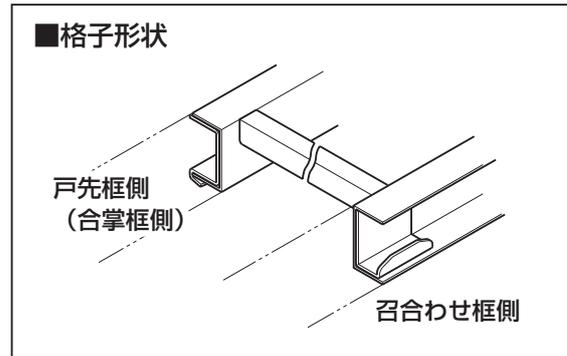


④下線を縦枠から真下に引抜きます。

⑤格子を縦枠から真下に引抜きます。

※格子には左右がありますので組立てるときには、取外したときと同じ向きに入れてください。（間違えると障子の出来幅調整ができなくなります。又、格子の左右は形状で見分けられます。ただし、高さ1300未満には召合わせ枠側の金具はありません。）

※高さ1300以上で格子が引抜きづらい場合は、召合せ枠中央部の左右調整固定ねじを少し左にゆるめてください。



⑥障子紙を裏面から、水分を含ませたハケなどで十分にしめらせ、下の方から静かに棒で巻取ると簡単にはがせます。

※へら、カッターなどで削り落とすと、格子を傷めるのでおやめください。

紙や糊の残りがあるときは、やわらかいスポンジに水分を十分ふくませ拭取ってください。

⑦市販の澱粉糊で、障子紙を張ります。

紙は格子より10mm程度大きく張ってください。（図1）

※障子に結露が発生する場所でご使用になる場合には、結露水による紙のハガレ防止のため、有償部品「張替え用のり」の使用をおすすめします。

※有償部品として、張替え用の「障子紙（強化和紙）」も用意してあります。

※澱粉糊又は、「張替え用のり」以外は、使用しないでください。表面の樹脂シートが傷みます。

※市販のアイロンで張るタイプの障子紙は使用しないでください。表面の樹脂シートが溶けるおそれがあります。

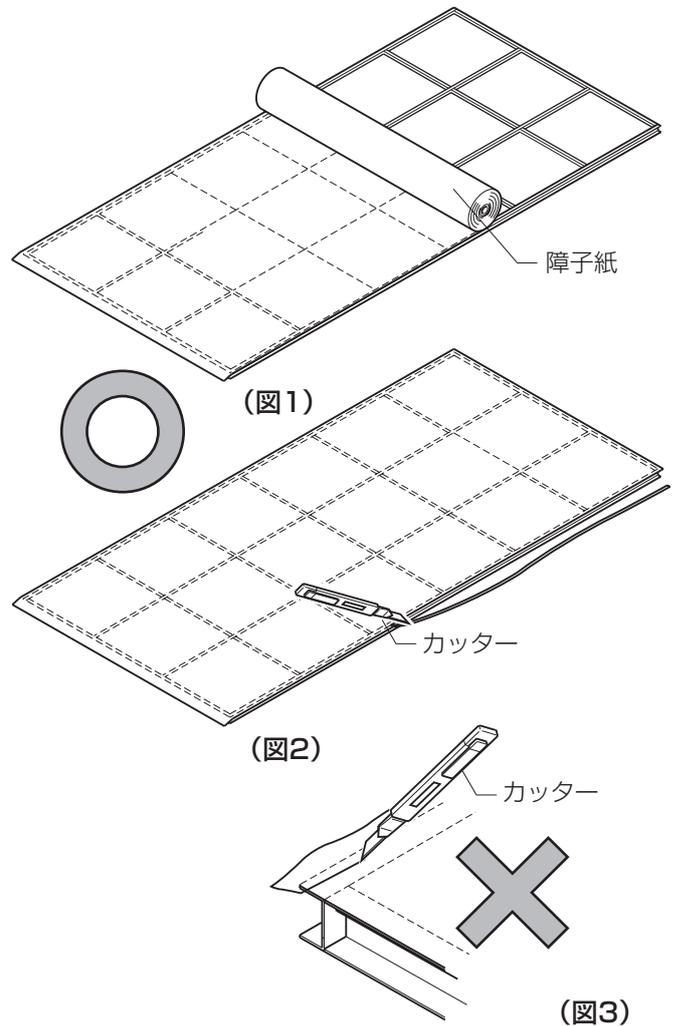
⑧格子の角にカッターをあてて紙を切断します。（図2）

※格子の見付け部分にカッターをあてると、格子にキズが付くのでおやめください。（図3）

⑨格子を縦枠の下から差込みます。

※召合せ枠側の向きを必ず合わせて差込んでください。

⑩下線を縦枠に差込み、②③で外したねじを取付けます。下線補助キャップと下線補助材を下線に取付け、調整ねじを締めます。



■猫間障子・上げ下げ障子 障子紙の張替え方法について

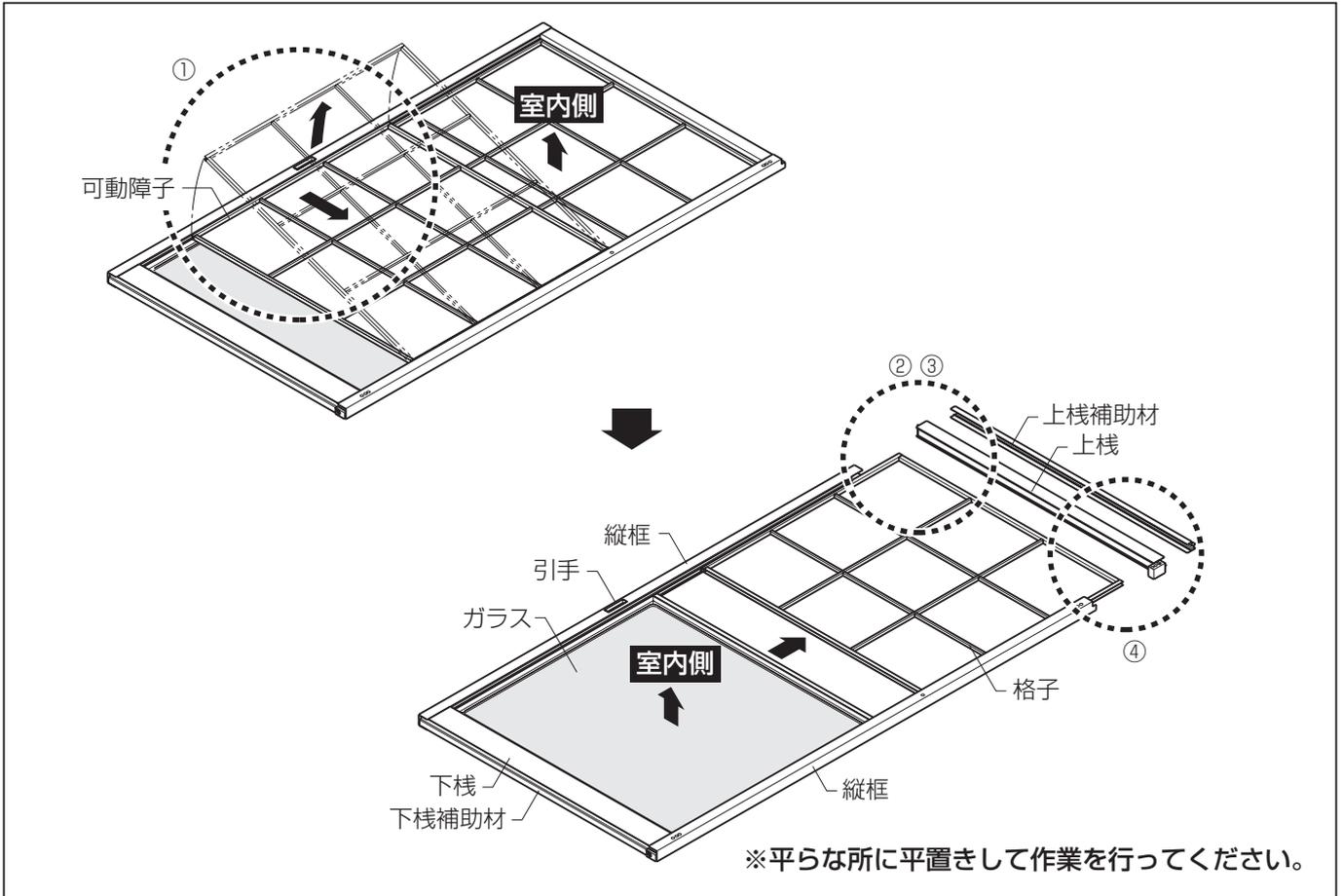
■障子紙の張替えに必要な物

- ・必要幅の障子紙
- ・弊社設定の有償部品の糊又は市販の澱粉糊
- ・カッター
- ・ハケ
- ・プラスドライバー
- ・水

●●● 障子紙のお願い ●●●

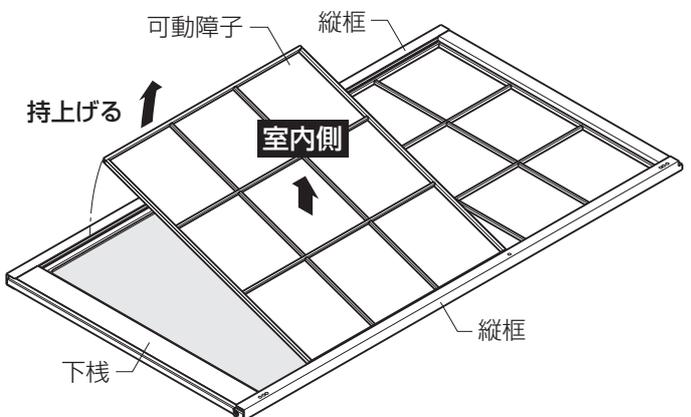
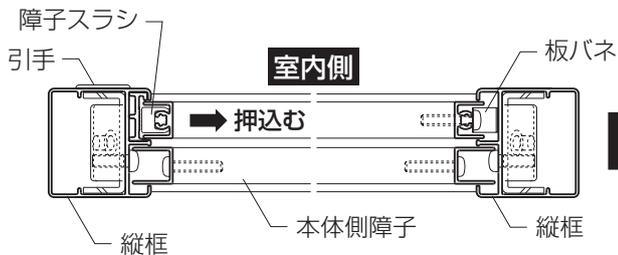
※市販のアイロンで張るタイプの障子紙は使用しないでください。表面の樹脂シートが溶けるおそれがあります。

※市販の澱粉糊又は有償部品として用意している「張替え用のり」以外は使用しないでください。表面の樹脂シートが傷みます。



- ①可動障子を格子面から見て右側に押込み、持上げて外します。
 ※可動障子の障子紙を張替える場合は、⑤以降を参照してください。

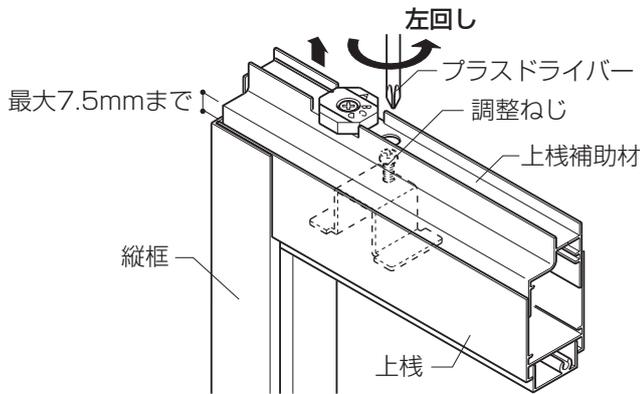
■本体下部からの見上げ図



②上棧補助材を外します。

・猫間障子の場合

①上棧補助材の調整ねじを左に回して緩め、上棧補助材を外します。



③上棧の戸先框側に付いている組立てねじ（ナベ小ねじ M4×10）を外します。

④上棧を縦框から真上に引抜きます。

⑤障子紙を裏面から、水分を含ませたハケなどで十分にしめらせ、下の方から静かに棒で巻取ると簡単にはがせます。
※ヘラ・カッターなどで削り落とすと格子を傷めるのでおやめください。
紙や糊の残りがあるときは、やわらかいスポンジに水分を十分含ませ拭取ってください。

⑥市販の澱粉糊で、障子紙を張ります。紙は格子より10mm程度大きく張ってください。（図1）
※障子に結露が発生する場所でご使用になる場合には、結露水による紙のハガレ防止のため、有償部品「張替え用のり」の使用をおすすめします。
※有償部品として、張替え用の「障子紙（強力和紙）」も用意してあります。
※澱粉糊又は、「張替え用のり」以外は使用しないでください。表面の樹脂シートが痛みます。
※市販のアイロンで張るタイプの障子紙は使用しないでください。表面の樹脂シートが溶けるおそれがあります。

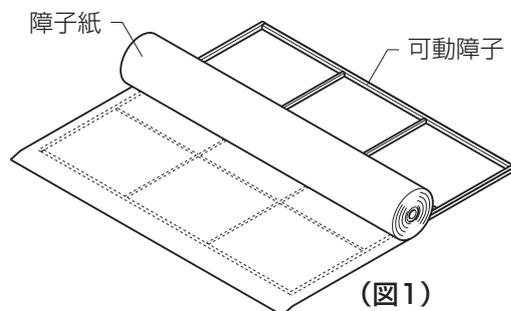
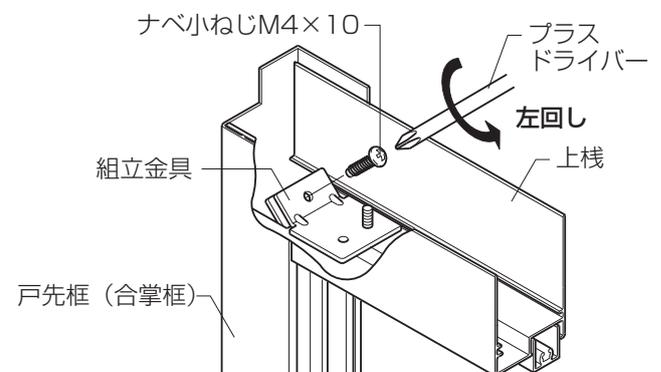
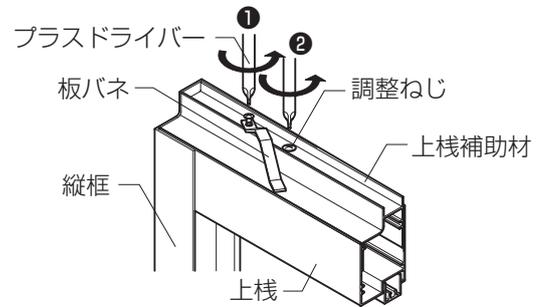
⑦格子の角にカッターをあてて紙を切断します。（図2）
※格子の見付け部分にカッターをあてると、格子にキズが付くのでおやめください。（図3）

⑧格子を縦框の上から差込みます。
※縦框と格子に付いている金具どうしが噛み合うように差込んでください。
※可動障子を取付ける際は、可動障子に左右がありますので、取外したときと同じ向きに取付けます。
取付け後、可動障子が外れていないことを必ず確認してください。

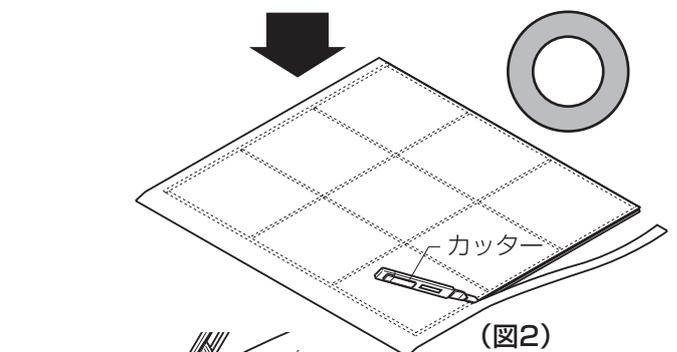
⑨上棧を縦框に差込み、②③で外したねじを取付けます。上げ下げ障子は②で緩めた板バネのネジを固定します。上棧補助材を上棧に取付け、調整ねじを締めます。

・上げ下げ障子の場合

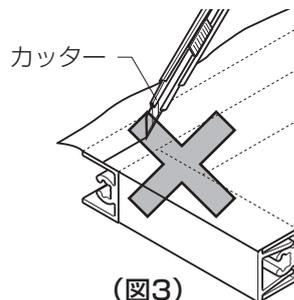
①上棧に付いている板バネのねじを緩め、板バネをずらします。
※ねじを外してしまうと上棧補助材に取付けてある接続金具が抜け落ちてしまうため外さないでください。
②上棧補助材の調整ねじを左に回して緩め、上棧補助材を外します。



（図1）



（図2）



（図3）

■商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。

保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店または、当社商品相談窓口にご相談ください。

■対象商品・・・・・・・・・・リビング建材商品

■保証期間・・・・・・・・・・施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）

注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■保証内容・・・・・・・・・・取扱い説明書・本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

■免責事項・・・・・・・・・・保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合
（例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など）

②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

④商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑤自然環境や住環境に起因する結露などの不具合

⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合）

⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合

⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害

⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、設備不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合

⑫本来の使用（一般住宅用）の目的以外の用途に使用された場合の不具合
又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店または、当社商品相談窓口にお問合わせください。